

瀬戸内文化圏 共創フォーラム

Setouchi Cultural Region
Co-Creation Forum

— 支援団体と活動者が描く、これからの地域づくり —

瀬戸内エリアを ひとつの「文化圏」 として捉える

瀬戸内海地域では、
空き家、災害、福祉、教育、食、環境など、
暮らしに根ざした多様な地域課題と
活動が各地で展開されています。

本フォーラムは、
瀬戸内をひとつの「文化圏」と捉え、
活動を実践する人と、それを支える団体が
分野や地域を越えて集う場です。
互いの取り組みや視点を共有しながら、
これからの地域づくりの方向性や、
より良い支援のあり方を
ともに描いていきます。

2026

3

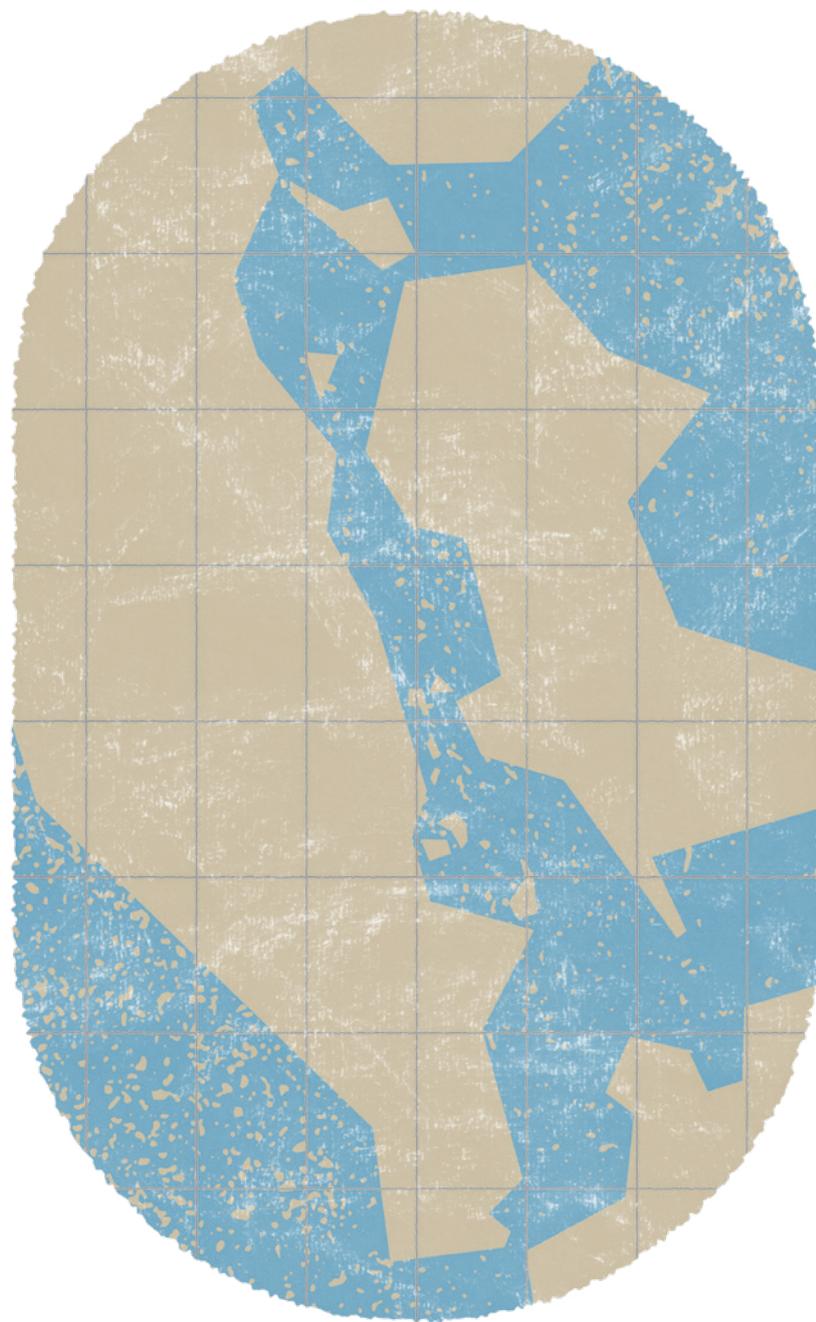
24 Tue.

13:30 — 16:30 (13:00開場)

参加無料・要申込 | 定員100名(先着)

主催 | 公益財団法人 福武財団

会場 | 広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟6階 マルチメディアスタジオ



瀬戸内文化圏 共創フォーラム

Setouchi Cultural Region
Co-Creation Forum

—支援団体と活動者が描く、
これからの地域づくり—

プログラム

13:00	開場	14:20	休憩
13:30	開会・ご挨拶	14:30	トークセッション
13:35	開催趣旨について	16:25	閉会・クロージング
13:50	基調講演	17:30	懇親会・交流会 ※会費制(3,000円)



参加申込は
こちらから

基調講演

「支援者と、支援者・活動者をつなぎ、地域活動を応援するためには(仮)」

雲南市 政策企画部 地域振興課 地域振興グループ 主幹 **大谷 吾郎** 様



地域住民が自ら多様な活動や事業で暮らしを支える「小規模多機能自治」(概ね小学校区での住民主体のまちづくり)の全国的な推進・連携を目的にした、全国の自治体会員を中心とした全国組織「小規模多機能自治推進ネットワーク会議」の事務局を担っている雲南市。雲南市の小規模多機能自治の取り組みや、分野横断での支援体制や民間の中間支援組織との関わりなどの支援体制について事例を織り交ぜながら、中国地方の地域コミュニティ組織、地域運営組織の取り組みや課題の特徴、それを支える地域の自治体の状況をお話いただく。

講演者プロフィール
1979年雲南市生まれ。2003年に合併前の旧大東町役場に奉職。福祉部局や支所での地域振興担当を経て、2018年より政策企画部地域振興課に異動し、小規模多機能自治を担当。

トークセッション

「これからの瀬戸内はどこに向かうか、支援と実践のあいだで何が起きているのか—瀬戸内の現場から考える、活動の育ち方と支え方—」

モデレーター

瀬戸内各地で活動する団体と、それを支えてきた支援団体がペアで登壇し、活動の歩みと支援との関係性を振り返ります。立ち上げ期から拡大・成熟に至るまでの課題や成果、支援が力になった場面、悩みや葛藤を共有しながら、分野を越えて見えてくる共通点を探ります。さらに、瀬戸内エリア全体として今後どのような連携や支援が求められるかを考えつつ、瀬戸内の未来について深めます。



石原 達也

合同会社 遠足計画
代表(代表社員)
PS瀬戸内株式会社
代表取締役
特定非営利活動法人
みんなの集落研究所
代表執行役
ほか

1977年岡山生まれ。NPO設立を機に地域支援へ。集落研究、SIB、災害支援、まちづくりなど活動は多岐にわたり、少人口時代の地域の仕組みづくりに取り組む。

支援団体 登壇予定者



木村 英司

公益財団法人 福武財団
経営企画室 室長
コミュニケーションプランニング部 部長
助成ネットワーク部 部長



大美 光代

公益財団法人
たかまつ讃岐てらす財団
代表理事



高平 亮

特定非営利活動法人
岡山NPOセンター
代表理事



松村 渉

NPO法人
ひろしまNPOセンター
理事

活動団体 登壇予定者



豊田 雅子

NPO法人
尾道空き家再生プロジェクト
代表理事



丸畑 望

福祉works MANMARE
代表



服部 育代

一般社団法人 ほっと岡山
代表理事



仁城 ひなた

岡山県井原市立高等学校
イノベーションハーバー 代表



後藤 峻

一般社団法人 フード
代表理事

アクセス



広島市まちづくり市民交流プラザ

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号

駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。なお、身障者用駐車場のみ3台分用意しています。自転車・バイクは、地下の公共駐輪場(有料、入口北西側)をご利用ください。

【公共交通機関】
広島電鉄(以下、広電)市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
「紙屋町東」電停から徒歩約6分
バス:「袋町」バス停(広電・広島バス)から徒歩約3分
「放送会館前」バス停(広島バス)から徒歩約6分
「広島バスセンター」から徒歩約9分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分



※懇親会・交流会は会場から徒歩圏内に調整中(当日、参加申し込み者に場所をご案内いたします)

お問い合わせ先 | 公益財団法人 福武財団 助成事業担当
Tel:087-892-2550 Mail:mail@fukutake-grant.jp